

今月の推薦句

山田真砂年選

樂屋からそつと抜け出す三の酉

上田信隆

さざなみは夢の入り口浮寝鳥

檜田良枝

頃合ひに萎びてをりぬ干大根

大坪正美

黄落やそれぞれ違ふ靴の音

飛田小馬々

大根の太さ葉陰にちらと見る

滝代文平

老いどちは並べておほごゑ年忘

西中悦子

フラメンコのリズムたけなは葉鶏頭

植松深雪

山もみぢ水面叩いて川漁師

小見戸実

山に雪田に野ざらしの耕運機

中村晃也

冬麗ルパシカを着し夫遠く

細井恵子

天板のすこしづつれ置炬燵

國益悦子

結ひ上げし三頭身の七五三

林恵美子

秋渴き溜まるばかりの料理本

関口敦子

わが町に子供食堂小鳥来る

高田峰

月蝕の終はりマフラー巻き戻す

永井三枝

白息の裏表なき言葉受く

高田峰

球拾ひヌスピト萩のやたらめたら

池田角之助

はうれん草サラダのえぐみ割りと好き

戸上晶子

鉄工所の隅で洗ふや泥大根

くぼ六茶

実石榴や老女の暮らし音の無く

田村チカ

瀧本萌

